

STOP! 詐欺被害

「自分は大丈夫」は

本当に大丈夫?



市内では、依然として詐欺被害が発生しており、その手口は日々、巧妙さを増しています。被害を未然に防ぐには、市民の方一人一人が詐欺に対して関心をもつことが大切です。

被害にあった方の多くは「自分は詐欺にあわない」と思っていたというデータがあります。「自分は大丈夫」と思わずに、日ごろから注意を怠らないようにしましょう。

岡市生活安全課・内線2547



生活安全課防犯担当
奥野主査

令和2年に市内で発生した特殊詐欺による被害総額は約5,000万円でした。それ以外にも、さまざまな悪質商法の被害が報告されています。詐欺の手口に関する知識を身につけ、対策をしておくことが大切です。

被害にあわないために 最近の手口を知っておこう

新型コロナウイルス感染症に便乗した詐欺など、最近増えている手口と対応のポイントを紹介します。

事例1 ワクチン詐欺

市役所職員を名乗る人物から電話がかかってきて、「ワクチンを優先的に打つことができるが予約手数料が必要」などと言って、金銭を要求された。



Point

新型コロナウイルスのワクチン接種は無料です。市の職員が金銭を要求することはありません。電話で、金銭や個人情報を要求された場合は、相手が親族や行政機関を名乗っていたとしても、一度誰かに相談してから行動しましょう。

事例2 悪質な訪問販売

「点検のため、水道局から来ました」という作業着姿の男性を家に入れたところ、「水質検査をしたら水が汚れている」と言われ、断り切れず高額な浄水器を契約してしまった。



Point

突然、訪れた業者から「点検が必要」と言われても、すぐに応じたりせず、疑問な点があれば関係機関に確認するなど、慎重な対応を心掛けましょう。また、このように訪問販売で契約した場合、契約書を受け取ってから8日以内であればクーリング・オフをすることができます。

事例3 送り付け商法

注文した覚えのない物が送られてきて、家族が受け取ってしまった。中身をみていないが、どうしたらよいか分からない。



Point

特定商取引法の一部改正により、契約の合意がなく、一方的に送り付けられた商品は、直ちに処分ができるようになりました。返送や購入の義務はありません。ただし、定期購入品や贈答品の可能性もありますので、まずはよく確認しましょう。

事例4 宅配業者を装った偽SMS詐欺

宅配業者から「不在通知」のショートメールが届いたので、記載されていたURLにアクセスし、IDやパスワードを入力した。その後、荷物は届かず身に覚えのない請求を受けた。



Point

ショートメールに記載されているURLには安易にアクセスしないようにしましょう。不審なアプリをインストールさせたり、フィッシングサイトで電話番号やID・パスワード等を詐取されたりする事例が報告されています。

無料貸出 自動通話録音機を活用しよう

市はおおむね65歳以上の方を対象に、自動通話録音機を無料で貸し出しています。この機器は、着信時に通話を録音する警告メッセージを流し、会話を録音するものです。申し込みを希望する方は、お問い合わせいただくか、直接、立川警察署(緑町3233-2)、または、生活安全課(市役所2階54番窓口)へ。

岡市生活安全課・内線2547、立川警察署☎(527)0110



困ったらここに相談

立川警察署 ☎(527)0110

立川市消費生活センター ☎(528)6810
〔土曜・日曜日、祝日を除く、午前9時～午後4時。電話相談のみ受け付け〕